

Special Feature

特集

老健施設における サイバーセキュリティ対策

近年、医療機関をターゲットとしたサイバー攻撃が頻発しており、その被害は確実に増えつつある。昨年10月には大阪府の医療機関が「ランサムウェア」と呼ばれる身代金要求型のウイルスによるサイバー攻撃を受け、電子カルテが使用不能になるなどの障害が発生した。このような被害は医療機関に限らず、老健施設においても十分に起こり得るものであり、医療・介護DX※を推進する現状において、非常に重要な課題である。

本特集では、老健施設におけるサイバーセキュリティにかかる対策や対応を考察する。

※DX(Digital Transformation)は、デジタル技術を活用し業務の効率や質を向上させること。



インタビュー1

セキュリティ対策の基本は 組織内での情報共有とルールの徹底

木下宏揚さん

神奈川大学工学部電気電子情報工学科 教授



インタビュー2

医療機関への ランサムウェア攻撃が増加 老健施設も当事者意識をもって対策を

深津 博さん

一般社団法人医療ISAC 代表理事
愛知医科大学医療情報部 部長・教授